

151. 除外されても僕が生き残るために

やはり... 根本から考え直した方がいいと思います。ます。

I think... コロナ終息が1番の経済対策です。極論でしょうか。タモリの名言「近道はないよ。真ん中の王道が近道なんだよ」Go To キャンペーン、はじめから問題続出でしたが。余計なことはなくていいから、各々が自分の持ち場を責任もって仕事をすればこんなに問題が出てくるはずがない。予防、検査、医療体制に税金を使って安心、安全が保証されれば、あとは業界、企業、個人でなんとかします。そこはプロですから。感染症対策をその道のプロにお任せ出来れば本業で勝負するので。何故、本業の方に口出ししてきて、素人の感染症対策で勝負させようとするのですか。ずっとおかしいと思ってた。なんで先生に髪型や服装をチェックされなきゃいけないんだ。今は先生の気持ちも分かる。なんで生徒指導しなきゃいけないんだ。これじゃ、お互い学業に専念できん。この構造をつくったのは誰だ。日本人という集団。だから集団心理を誘導するのが政治だという考えしかない。経済もこのやり方になってしまった。全てのホテル、旅館に国費で感染症対策を施すとか、観光業者の検査費用を補助するのなら理解できるが。僕らはまたマネー経済に戻りたいのか。実際、Go Toに勝負をかけて損失を出した所もあるだろう。これはもうキャンセル依存症だ。僕も10万円もらって喜んでいる場合じゃない。PCRクーポン+8万円にすべきだったんだ。なんて言うくらいなら10万円で検査すればいいじゃないか。5回出来る。個が自立しなければ組織にならない。が、個頼みでは真面目にやっている個から疲弊してゆく。そんな組織なら要らない。

みしろの お茶飲みインタビュー

ゲスト◎児玉瑞木さん

今回も、過去ネオンホールライブに多数登場しているSSW、児玉瑞木さんにお話を伺いました。

三：学生時代の専門は？

児：地質でした。院生時代は、海ほたるの中間の「貝形虫」という生き物の化石を調べる研究をしていました。野外に行くと、地層からサンプルを採ってくるんですよ。それで、そのサンプルを、薬品とかを使って細かくして、顕微鏡のぞいて、その中から貝形虫の化石を一個ずつ取り出してって、種類ごとに数を調べて、どの種類がどのくらいの割合でいるかっていうのから、当時その地層が溜まった場所の環境を考えたということをしていました。

三：小さい頃の将来の夢は？

児：本当に小さい時は、ウルトラマンになりたかったです。ありがちなんですけど、少し大きくなってからは、恐竜がすごく好きで、学者になりたかったですね。

三：趣味は何ですか？

児：ギターはよく弾いています。自分の曲も練習してるし、あんまり今までコピーとかやってなかったんですけど、最近は有名な曲は弾けた方がいいなって思って、ちょっとずつ練習とかもしたりしてます。

三：CD「あこがれ」、発売おめでとうございました。良い音源ですね！

児：本当にありがとうございます。去年の10月に、3回くらいに分けて録りました。安曇野にあるスタジオの、コンソールルーム（ミキサーとかがある部屋）で録音しました。自分の音源はこれが初めてです。

三：選曲は？

児：自分で選びました。なるべく今まで活動してきた中で、最初の方と中間の方と、最近の方から選ばうと思って。割とどの曲も思い入れがありますね。一番気に入っているのは「飯山線」。自分で言うのもなんですけど、あれは良い歌だと思ってます。

三：どんなCDになったと思いますか？

児：正直に言うと、結構粗い感じになって気もしなくもないんですけど、ただ、今の一杯一杯という感じがします。今はこれが一杯一杯だなど。

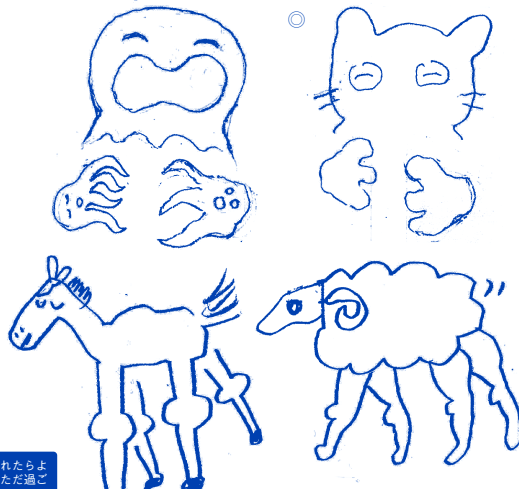
NEON TALK

ネオントーク
2020.8 vol.227



ぐんにやりしてるんだ？！

わかる？



◎いつかやれたらよいと言ってたけど、少し遠くへかけるのは大抵疲れるけどよいこと！NEONHALL

NEON NEONHALL Nagano City
ライブハウス、小劇場、ArtSpace